

日本医療情報学会関西支部会 2025 年度 第 1 回講演会
(共催) 関西医療情報処理懇談会 (KMI) 第 72 回例会
(共催) 関西医療情報技師会 第 50 回勉強会

ChatGPT などをはじめとする生成 AI は、業務効率化、情報整理、クリエイティブ支援など、さまざまな分野での活用が進んでいます。近年、医療現場では働き方改革の推進に伴い、医療従事者の負担軽減や業務の効率化が強く求められています。一方で、導入に伴う情報管理上の懸念や、個人情報保護との両立、現場の運用課題なども浮かび上がっています。こうした技術の急速な進展に対して、現場の実態と制度的・倫理的な視点を交えた議論の場が求められています。今回は、ベンダーによる最新技術の紹介と、導入実績のある医療機関による活用事例を通して、医療分野における生成 AI の実践的な可能性と課題を共有し、「どのような取り組みが可能か」、「自施設への導入時の注意点」、「現場スタッフとしてどう関わるか」など現場目線で議論するための講演会を企画しました。大勢のご参加をお待ちしております。

テーマ：医療機関における生成 AI の最新技術と利活用事例

日時：2025 年 10 月 25 日 (土) 13 時 15 分～17 時 30 分 (12:45 受付開始)

場所：八尾市立病院 北館 5 階大会議室 (大阪府八尾市龍華町 1-3-1)

定員：100 名 (現地開催のみ)

参加費：無料

認定ポイント：医療情報技師更新ポイント：4 ポイント、医用画像情報専門技師ポイント：8 ポイント
＜講演会プログラム＞

12:45～13:15 開場・受付開始

13:15～13:25 開会挨拶：小枝伸行先生 (KMI 会長)、事務連絡、趣意説明 (関西医療情報技師会世話人)

13:25～13:50 講演 1：北山靖洋先生 (JCHO 西日本地区事務所)
生成 AI の業務への利活用について (非診療領域での取り組み)

13:50～14:15 講演 2：須藤良太先生 (Ubic 株式会社 医療機関事業本部カスタマーサクセス)
PHR・EHR 連携と生成 AI が拓く病院オペレーション

14:15～14:40 講演 3：榊原祥裕先生 (岡山旭東病院)
電子カルテ環境での生成 AI 活用 ～多職種での検証から全職員展開へ～

14:40～14:50 休憩

14:50～15:15 講演 4：助永親彦先生 (隠岐広域連合立隠岐病院 麻酔科)
小規模医療機関の生成 AI 導入実践—実装ステップとその障壁

15:15～15:40 講演 5：清水教弘先生 (日本マイクロソフト株式会社 ヘルスケア統括本部 本部長)
生成 AI を活用した医療現場のイノベーションと展望

15:40～16:05 講演 6：西村潤一先生 (大阪国際がんセンター 医療情報部)
当院における生成 AI 活用の開発と運用

16:05～16:30 講演 7：岡本和也先生 (フィッティングクラウド株式会社)
安全に医療情報を扱える生成 AI による医療文章生成システム CocktailAI

16:30～16:40 休憩 会場レイアウト変更

16:40～17:20 総合討論：(40 分)

17:20～17:30 閉会挨拶：黒田知宏先生 (JAMI 関西支部会会長)、事務連絡 (次回案内、懇親会案内等)

主催：日本医療情報学会関西支部会 共催：関西医療情報処理懇談会 (KMI)、関西医療情報技師会
担当：関西医療情報技師会 担当世話人 (50 音順)：魚澤 正克、小谷 裕輔、北山 靖洋、佐々木 啓充、
菅野 俊、鈴木 淳、高井 康平、櫃石 秀信